

平成28年度 第1回櫛引地域地区公民館運営審議会記録（概要）

日時：平成28年7月5日（火）

18:30～20:30

場所：櫛引公民館講座室

<出席者>（委員11名）

委員：後藤 誠委員、長島昭則委員、兼子由香委員、加藤雅樹委員、宮崎広幸委員、清和ふみ子委員、佐藤治郎作委員、木村英俊委員、佐久間忠勝委員、難波正喜委員、斎藤ゆう子委員

事務局：櫛引庁舎支所長 榊原賢一、（併）社会教育専門員 長谷川勝彦、（併）社会教育専門員 松田亜紀子、総務企画課総務地域振興専門員 大宮将義、（併）専門員 板垣舞子、（併）専門員 菅原源太郎

※委員名簿順、（併）は社会教育課併任職員

<欠席者>（委員2名）

委員：佐藤丑也委員、菅原 勝委員

<公開・非公開> 公開

<傍聴者> なし

<会議内容>

委嘱状交付：教職員異動、団体役員改選に伴う補欠委員8名に交付

1. 開会：事務局

2. あいさつ：櫛引庁舎支所長

3. 委員長、副委員長選出：委員の互選により、委員長に木村英俊委員、副委員長に清和ふみ子委員を選出

4. 協議：議長は木村委員長

（1）平成28年度櫛引公民館事業の実施内容について

- ・別紙資料「平成28年度櫛引公民館関係事業」に基づき、事務局が説明
- ・質疑応答

委員：市町村合併から10年経ったので、成人式も一本化した方が良いと前回の審議会で提言した。新文化会館が平成29年8月に完成する。平成30年の成人式の想定対象者は約1,300人と聞いたので収容可能と考えるが、その後の検討などは進んでいるか。

事務局：各地域で式典の日時、自主企画の開催方法、交通事情等の事情が異なるので、合同の開催とした場合の課題の洗い出し等、検討を進めている状況である。

委員：高校生ボランティアサークル NO-SIDE（ノーサイド）の頑張りをどのようにPRしているか。

事務局：県が発行する庄内地方の青少年関係団体広報で記事を掲載してもらっている。また、鶴岡市ケーブルテレビジョンからは特別養護老人ホーム入

居者への暑中お見舞い、年賀状書きを取材してもらい、KCTウィークリーで放送してもらった。今年度は会員3人でスタートし、現在会員6名。やる気のある高校生が会員なので、良いところを伸ばせるように活動を続けていきたい。

委員：生涯学習ひろばが放送開始から20年を経過し長寿番組となっている。今後の方向性をどのように考えているか。

事務局：生涯学習の普及、啓発を行い定着させてきた。また、様々な学習活動の様子を記録、紹介する効果もあった。啓発という段階から発展の段階に移り、20年間同じ番組形式であるので、今後の番組のあり方について、KCTとも相談しながら、より将来につながる方法を検討したい。

委員：丸岡に竣工した城跡史跡公園ガイダンス施設の概要はどのようなものか。

事務局：鳥居町にあった市指定有形文化財の日向家住宅を解体、保管していたものを、丸岡城跡史跡公園内に復元し利活用するもの。総事業費は約6,800万円。指定管理制度での管理委託を行う。7月16日に開館記念式を行い、原則として土・日曜日に一般公開を行う。

委員：ガイダンス施設は市指定文化財なので、色々な制約がある。展示はどのように行っているか。また、DVD放映などの映像展示の設備はあるか。

事務局：市指定文化財なので壁面にパネルを釘で打つなどは当然出来ない。武家屋敷の雰囲気を大切にし、展示パネルも木製で建物に触れない自立する形になっている。DVDなどの放映設備は今のところ設置していない。

(2) その他

・特になし

5. 報告

・事務局より報告事項

6. 閉会